

森林の恩恵に感謝して 水源かん養林で森林整備体験



日野川の源流と流域を守る会は、日野川上流域(日南)と下流域(境港・米子)にお住まいの方たちの交流を深めるため、11月8日(日)にスギ・ヒノキの間伐が必要な日南町宝谷の森林整備とヤマツツジ20本の記念植樹を行いました。

同時に、同日開催のふいご祭りに参加し、境港の発展に大きく貢献した「たたら」文化を通して、森と海のつながりについて学習しました。

当日は、あいにくの天候でしたが、お昼には大宮地域振興センターが作ってくださった、おこわやきのこ汁を皆でおいしく



日野郡の観光商品 売れる化プロジェクト

～たくさんの観光客を呼び込む ために地域の有志が一丸に～

日野郡広域交流促進協議会の企画ワーキンググループと地域の有志(飲食・宿泊業者、農林業者、観光関係者、地域おこし協力隊など)26人は、宿泊予約サイトで有名なじゃらん((株)リクルートホールディングスじゃらんリサーチセンター)及び県観光連盟と連携して、5月から1回のミーティングを行い、地域資源を活かした観光商品の開発に一丸となって取り組んでいます。

ミーティングでは、日野郡の売りとなる地域資源と新しい観光テーマを絞り込み、22個の地域資源と9個の観光テーマについて、その認知度や興味度をインターネット市場で調査しました。その結果、認知度は40%未満と低いものの79%もの高い興味を持たれた地域資源もあり、これから磨けば輝く素材があふれていることが判明。

そこで当協議会では3年後を目途に、3町共通のグルメ開発と認知度向上のための広報活動・販促ルート開発を進めていきます。

インターネット市場調査の結果

※関東・中京・近畿・中四国の全国4ブロック16都府県に住む20歳以上男女1,040人を対象にアンケート調査。

地域資源に関する興味度

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 明地峠の雲海(表紙写真) | 6 金持神社 |
| 2 手打ちそば | 7 サントリー天然水 |
| 3 ブルーベリーファーム | 8 農家レストランのイタリアン |
| 4 鍵掛峠・貝田・御机から眺む大山 | 9 古民家宿泊・自然体験 |
| 5 ヒメボタル・ゲンジボタル | 10 ちゃんぽん麺 |

新たな観光テーマに関する興味度

- | |
|-----------------------|
| 1 奥日野きのこコンフィバーガー移動販売車 |
| 2 奥日野「洋食ランチ」 |
| 3 奥日野「和食ランチ」 |
| 4 奥日野キノコツーリズム |
| 5 日野郡こだわりお土産 |



ぶらっと奥日野モニター ツアーで魅力発信!!

～地域の認知度向上とリピーターの 来訪を目指します～

日野郡広域交流促進協議会では、県外の旅行会社と連携して、岡山県からお越しいただいたお客様に、日野郡の魅力をまるごと味わっていただくモニターツアーを今年度3回実施しました。

ツアー催行日は天候に恵まれ、日野郡が誇る自然や景観をベストな状態で観賞することができ、参加者の満足度もアップしました。また、参加者からは「生産者を訪ねた農場見学での試食や収穫体験が楽しかった」「地元ガイドとしか行けない穴場スポットや情報を聞いて良かった」などの声がありました。

今回は3回とも参加された方もいて、確実に日野郡ファンが増加しているのを感じました。

第1回 ホタル舞う日南福万来幻想風景 ～ヒメとゲンジの大饗宴～

7月11日(土) 参加者29人
コース 道の駅奥大山⇒榎木さんちのトマト農場見学(写真1)⇒井上靖記念館(写真2)⇒ふるさと日南邑(夕食)⇒福万来ホテル観賞(写真3)

第2回 旬の「ノドグロ」と「紅葉」写になる町 奥大山江府町の旅

10月31日(土) 参加者24人
コース 鬼女台・鍵掛峠・茅葺小屋(紅葉観賞)(写真4)⇒休暇村奥大山(昼食)(写真5)⇒道の駅奥大山⇒中尾さんちの原木シイタケ収穫体験(写真6)⇒金持神社参拝(写真7)

第3回 早起きは三文の徳! 明地峠の雲海とオシドリ見学

12月5日(土) 参加者11人
コース 明地峠(雲海)⇒オシドリ観察⇒うどんやどんぐり COROCORO(朝食)⇒道の駅奥大山⇒ねうぶら⇒金持神社参拝⇒リバーサイドひの(昼食)



森林 × たたら



昨年、約90年ぶりに伯耆国たたら顕彰会によって復活された「ふいご祭」。第2回目となる今年は、11月8日(日)にたたら製鉄で栄えた日南町印賀で開催されました。

ふいご祭とは、かんなやしん 金屋子神を祭り、ふいごを清めて精進を誓う伝統行事です。

祭りでは、砂鉄投入体験、現在人気上昇中のたたらにちなんだ民謡「印賀たたら唄」の熱唱、たたら紙芝居第3作目「伯耆国の流通革命」のお披露目など、たたらに関する多彩な催しが開催され、多くの来場者で賑わいました。

約6時間操業したミニたたらでは、4.9kgものりっぱな鋳ができたのは大喜びでした。

今年は、鋳の重量当てクイズも実施され、参加者は砂鉄からどれくらいのアリが重さか分かるか大いに関心を持っていました。

第2回平成のふいご祭 in 日南町印賀

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2082 FAX:0859-72-2072